

授業科目名	NGO・NPO論	単位数	2単位
担当教員名	高橋泉	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力) DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる(継続力)</p>			
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>(1) ボランティアの本質を理解し、ボランティア活動の支援組織としてのNGO・NPOについて理解する。 (2) NGOと国連との関係性について学び、課題や問題点を考察する。 (3) 実際のNGO・NPOの活動事例から、現代の社会的課題に対してNGO・NPOが果たす役割と意義について考察する。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>NGO・NPOはどのような社会的役割を担う組織であるかという点について、活動事例を中心にその実態を学ぶ。また、国連との関係性、NGO・NPOの活動の位置づけについて、ボランティアの本質を踏まえた上で考察する。活動組織の実態については教科書の事例を基に理解を深め、NGO・NPOが共生社会において果たす役割について考察する。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回:イントロダクション:NGO・NPOの基本的事項(第1章) 第2回:ボランティアの本質(第1章) 第3回:NPO法成立の経緯と市民活動(第2章) 第4回:日本のNGOの活動史(第2章) 第5回:国際協力におけるNGOの活動実態(第2章) 第6回:NGOと被支援国(事例検討)(第3章) 第7回:ボランティアの原理と日本社会におけるNGO・NPOの課題(第3章) 第8回:行政・企業とNPO/NGO(第4章) 第9回:NGO・NPOの社会的地位—諸外国との比較(第4章、第6章、第7章) 第10回:NGO・NPOの財政的基盤とその問題点(第4章) 第11回:NGO・NPOと宗教団体(第5章) 第12回:関連法の規定と宗教の関係性(第5章) 第13回:宗教系NGO・NPOの特徴と強み(第5章) 第14回:資金調達面における宗教ネットワークの意義(第5章) 第15回:まとめ 科目修得試験</p>			
<p>スクーリングでの学修</p>			
<p>テキスト</p> <p>伊勢崎賢治(2010)『国際貢献のウソ』筑摩書房(ちくまプリマー新書) ISBN978-4-480-68847-7</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>参考文献 柴田謙治・原田正樹・名賀亨編(2010)『ボランティア論—「広がり」から「深まり」へ—』株式会社みらい ISBN978-4-86015-206-2</p> <p>参考URL 内閣府「内閣府NPOホームページ」https://www.npo-homepage.go.jp/ 外務省「ODA(政府開発援助)国際協力とNGO」https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo.html</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)</p>			